

## 骨子案等の説明の中で使用した資料からの主な変更点

ページ数	項目	修正点	補 足
4	目次	第1章「2 犯罪等の動向と本市の現状と課題」に修正	内容に合わせて修正
4	〃	第1章「2 犯罪等の動向と本市の現状と課題」の「2-1」「2-2」「2-3」につづく、・の項目を削除	全体で統一
4	〃	第2章「計画の基本的な考え方」の「1-2 計画の基本姿勢」「1-3計画の基本目標」を追加	
5	「1-1 計画策定の趣旨」の本文	3行目「様々な社会情勢の変化のほか、」を追加 9行目「デジタル化の進展により～本市においても」を追加 13行目「犯罪情勢や社会情勢」を追加 「豊川市内の刑法犯認知件数（総数）の推移」表を追加	
6	「1-3（1）関連計画など」の本文	2段落目「犯罪等に関する～施策に取り組みます」	再犯防止と犯罪被害者等支援に取り組むことについて並列的な表現に修正。
6	「1-3（1）関連計画など」の表	国・県の計画や豊川市の関連計画などを示した図を追加	
13	◎刑法犯検挙人員（少年犯罪の状況）	「少年人口」「少年100人あたり検挙人数」「検挙人数（成年）」「成年人口」「成年100人あたり検挙人数」を追加	100人あたりの少年検挙人数が、一貫して、同成年に比べて高い値になっていると分析。
19	キ、「自身や家族が被害にあうのではと不安に感じている犯罪について（同居家族別）」	アンケートから追加	性犯罪については、同居家族別で特徴的な傾向がみられるため追加
20	ク、普段の生活のなかで、外出や駐車・駐輪の際に施設する基準	「③自転車を停めてその場を離れる時」と「④車を停めてその場を離れる時」については、「車・自転車を所持していない」と回答した人を除いて再集計。	
21	ケ、犯罪情報や防犯に関する情報の収集方法	アンケートから追加	特徴的な傾向がみられるため追加
26	防犯ボランティア団体一覧	追加	現状を分かりやすくするため追加
27	②調査結果概要	「イ 構成員の年齢」「ウ 活動内容」「エ 昨年1年間の活動頻度」をアンケートから追加	〃
31～33	①豊川警察署管内の刑法犯検挙者中の再犯者数と割合 ②刑法犯（再犯）の包括罪種別内訳 ③刑法犯検挙者のうち窃盗犯の犯行時の無職者割合（初犯を含む）	法務省矯正局より、情報収集し、追加	豊川市の傾向を分析
35	イ、再犯防止に関する民間協力者・団体、運動として知っているもの	アンケートから追加	特徴的な傾向がみられるため追加
37	エ、どのような協力をしたいか～	アンケートから追加	特徴的な傾向がみられるため追加
38	オ、協力したいと思わない理由～	アンケートから追加	特徴的な傾向がみられるため追加